日本マクロエンジニアリング学会 立ち上げから国際会議開催まで

顧問 新田義孝

企画委員⇒企画委員長⇒事務局長⇒理事長⇒会長 (四日市大学名誉教授)

一橋大学経済学部教授 中川學先生

1984年の夏?どこからかお声がかかり、日 比谷高校の'星陵会館'に集合とのこと。

「日本マクロエンジニアリング学会を立ち上げる。今日お集まり戴いた方々、全員理事です。| ??

サロン・ド・マクロ

毎月一回、有楽町の某会議室で、軽食を つまんで、持ち回りの話題提供:

3年ほど続いた?

●毎回20名程度の参加。

マクロエンジニアリングの対象は?

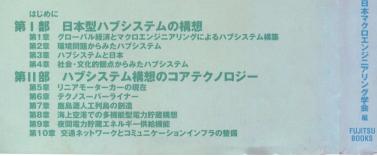
- ·宇宙の経済;**長友信人教授**(東京大学宇宙航空研究所(1964年設立)
 - ⇒宇宙科学研究所 (2012年改称): JAXA
- ・大規模輸送:**京谷好泰氏:**超伝導リニア(宮崎実験線)
- ・都市プロジェクト: 菊竹清訓氏:1970年大阪万博: エキスポタワー、1975年沖縄海洋博: アクアポリス、1985年つくば科学万博:マスタープラン作成委員としてBブロックの会場計画および外国館の設計を

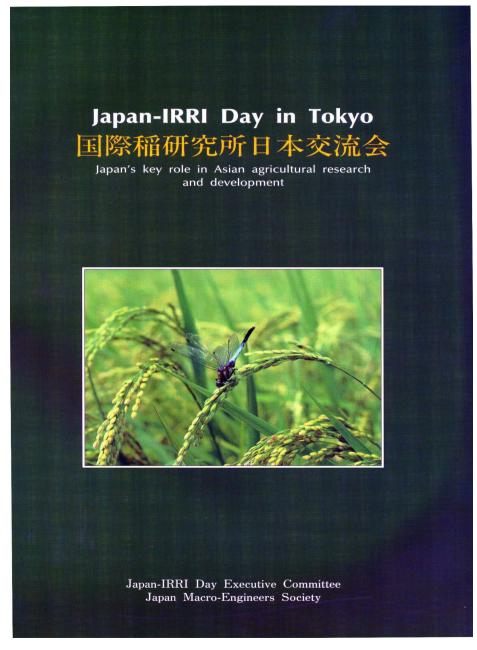
担当、2005年日本国際博覧会(愛知万博)では総合プロデューサーと

して会場計画を担当等々。

- ・大規模輸送(その 2) : **持田** 豊氏(**工学者、鉄建公団 青函建設局長**) 青函トンネル、ドーバートンネル
- ・地球環境、情報システム、ミレニアムコンセプト、スペースポート、海洋開発 など







1995年 11月25日 日経ホール

逸見謙三委員長

タイ国 シリントーン王女の 特別講演 ISSN 0915-0560

MACRO REVIEW Special Issue

The Review of Japan Macro-Engineers Society Vol. 16, No. 1, 2003 (Serial No. 25)

Proceedings of the Asia-Pacific Conference on

Sustainable Energy and Environmental Technologies







2003年5月8-10日 四日市プラトンホテル

まとめ

バブル期:壮大な夢が叶う。それは巨大科学技術による。

⇒宇宙、海洋、縦型都市構造、リニア、

トンネルによる大陸連携等々

シンポジウム、国際会議 中国三峡ダム視察旅行 等々で国際化

バブル崩壊と巨人たちの逝去 世代交代 ⇒ 地球環境、リサイクルなど

☆エンジニアリングから経済工学へ